

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 江東区民報編集委員会  
責任者 今井 栄一  
住所 江東区亀戸7-39-1-501  
電話3648-5155FAX3648-5137  
ホームページ  
http://www.koto-minpo.jp/

# あらたな75歳以上の医療制度に怒りの声 伝・署名をのりげ中止・撤回しかない

区民に説明会も行わず、知らせず、来年4月から予定とは！



中央社保協事務局長相野谷安孝さん(左上写真)を講師に「どうなる後期高齢者医療制度」を聞く江東区保健学校の参加者=文化センター

江東区社会保険推進協議会(以下江東社保協)は9月16日、中央社保協事務局長相野谷安孝さんを講師に来年4月から実施を予定されている「どうなる後期高齢者医療制度」江東区保健学校の参加者=文化センター

## 高齢者に負担増・差別医療強いる

自公政府はこの間財界には減税、国民には増税と負担増を押しつけてきました。

昨年6月成立した「後期高齢者医療制度」は国の医療費負担を削減するため患者負担の引き上げ、診療報酬の引き下げ、治療日数の縮小・削減など負担増と差別医療を強いるものです。講師の話が進む中、「あーあ長生きしたくねえな」のつぶやきが聞かれました。

これまで国保の保険料は世帯単位でした。今後は収入がない人は、区役所窓口払い、年金の低い人など扶養家族として保険料を払わなかった人もすべて、年金から保険料を天引きされます。

①すべての75歳以上の高齢者から平均月額6千円以上の保険料を年金から天引き

②75歳以上も保険料帯納者は保険証とりあげ

③高齢者の診療報酬引き下げで医療制限

保険料が高くて払えず半年滞納すると「短期保険証」、1年滞納すると「資格証明書」(全額医療費を窓口で支払い、その領収書を持って区役所に。余分に払った分を返す)。余分に払った分を返す。

④ベッド減らし、高齢者の入院お断り

入院は断られ、高齢者は自宅で療養しなくてはなりません。療養病床を6割減らして7千億円削減しようとしています。

その他、70〜74歳は窓口負担1割が2割に。65〜74歳は国保料を年金から天引き。現世世代も支援の名目で徴収

「高齢者の心身の特性にふさわしい診療報酬体系」の名目で別立ての診療

## 社会保障切り捨て反対、充実求め運動する「江東区社会保険推進協議会」

江東区社会保険推進協議会(事務局東

京土建江東支部)は1994年誕生、医療・年金・介護・福祉・障害者自立支援法など社会保障改悪に反対、いのちくらしを守る運動をすすめてきました。

後期高齢者医療制度へ認識しているのか」と厳しく批判、追及。その上で「住民税増収分の一部をあてれば保育料の値上げはしなくても済む」と値上げ撤回を求めました。

区長は「世帯収入も上がった」「区税の増収と保育料改定は次元が異なる」などの答弁に終始しました。

大つき議員は後期高齢者医療制度、介護保険、障害者自立支援法の問題

大つき議員は後期高齢者医療制度、介護保険、障害者自立支援法の問題

大つき議員は後期高齢者医療制度、介護保険、障害者自立支援法の問題

療報酬の引き下げを検討、保険でうけられる医療の範囲が狭められ、健診もはずされます。

入院は断られ、高齢者は自宅で療養しなくてはなりません。療養病床を6割減らして7千億円削減しようとしています。

その他、70〜74歳は窓口負担1割が2割に。65〜74歳は国保料を年金から天引き。現世世代も支援の名目で徴収

「高齢者の心身の特性にふさわしい診療報酬体系」の名目で別立ての診療

江東区社会保険推進協議会(事務局東

京土建江東支部)は1994年誕生、医療・年金・介護・福祉・障害者自立支援法など社会保障改悪に反対、いのちくらしを守る運動をすすめてきました。

後期高齢者医療制度へ認識しているのか」と厳しく批判、追及。その上で「住民税増収分の一部をあてれば保育料の値上げはしなくても済む」と値上げ撤回を求めました。

区長は「世帯収入も上がった」「区税の増収と保育料改定は次元が異なる」などの答弁に終始しました。

大つき議員は後期高齢者医療制度、介護保険、障害者自立支援法の問題

大つき議員は後期高齢者医療制度、介護保険、障害者自立支援法の問題

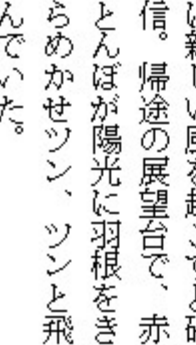
大つき議員は後期高齢者医療制度、介護保険、障害者自立支援法の問題

大つき議員は後期高齢者医療制度、介護保険、障害者自立支援法の問題

日光で行われた一泊2日の「青年学習・交流合宿」に同行した。Sさん

提供の合宿所に昼到着、荷物整理、昼食後すぐ学習▼テーマは「戦後62年、戦争と平和について考えよう」で、「東京上空襲」のビデオ、講師の話で討論。戦争の悲惨さを語り継ぐ大切さを深める▼学習疲れを癒そうと近くの「やしの湯」に入る。

温泉上がりの肌にサラリとした高原の風。誰かが「東京には風がない」と言った。ヒートアイランド現象でベタついた風に悩まされている江東の青年らしい実感だ▼夕食は飲み、喰い、討論とすさまじいパワー。翌日の学習は大丈夫だろうかと思いつつ2日目の学習テーマは「『格差社会』を江東から正そう」で、よく準備された資料を基に討論。区役所パトの賃上げは、全体の賃金引上げに必要と確認▼行動を共にすると青年の可能性が良く分かる。このパワーは、江東の運動に新しい風を起すか、確信。帰途の展望台で、赤とんぼが陽光に羽根をきらめかせ、トンと飛んでいった。





# 平和・くらし風土記 ②

## 石川島労働者の不屈のたたかい 「たたかってこそ明日がある」

### ③ 差別とのたたかいで勝利和解

76年に賃金・昇格差別の是正を求めて23名が、87年には出向を命じられた5人の活動家が、不当労働行為として都労委に救済を求めましたが、会社は、都労委の「協議をつくすように」を無視して、出向に応じられないとした5名を懲戒解雇。これらは、いずれも都労委で勝利・救済命令を勝ち取りました。しかし頑迷な石播は、中労委に再審を申し立て、たたかいは長期にわたりました。76年の申し立て以来、22年後の98年、中労委で解雇撤回、賃金差別是正、不当配転撤回の一括解決をみました。

しかし、その後も会社は差別をやめるところか、「ZC計画管理名簿」(ZCは「ゼロコミュニスト」の略)を作り、差別をつづけたのです。この差別



とのたたかいでは04年、武蔵事業所の労働者が東京地裁で勝利和解を勝ち取りました。

04年、石播の6事業所の労働者は168名(退職者故人含む)と武蔵事業所の7名が、思想差別、女性差別の是正と損害賠償、再発防止を求め、会社と交渉してきました。この交渉では、「ZC計画管理名簿」について「個別管理計画」が明るみに。活動家と同調者の一人ひとりについて、定年までの賃金、資格をあらかじめ決めるという、会社の差別意思が明白なものでした。この動かぬ証拠のもとで、会社は、ついに「差別的な人事管理が行われたと受け止められてもやむをえない状況があったことを認め」思想差別について明瞭に「反省」の意思を明らかにし、07年1月19日、和解協定に調印しました。(完)



## ルポルタージュ 戦争博物館 遊就館にみる 靖国史観

1869年明治天皇を中心とする新政府は、藩閥体制に代わって民心の收拾を計る国家神道を広め、政教一致を基調とした近代的国家の礎を固めようと、明治維新で「王政復古」に功績のあった人々を祀る招魂社を建てました。1873年国民皆兵をめざす徴兵令を公布、その後靖国神社と改称しました。

### 侵略戦争 美化の 遊就館

入館すると最初に東京裁判や戦争史の記録映画に案内されます。「戦争は勝たなければならない。負ければ勝者の論理で裁かれる」

二階の展示場には、「武人のこころ」と題して「海行かば水漬く屍」などの和歌に囲まれて古代から江戸時代の刀槍や甲冑、明治維新の志士から日清・日露戦争、満州事変・支那事変へと海兵の遺品、資料・近代化した武器が陳列されています。



軍旗と軍神の像

として、自存自衛の戦争で、国を護るために命を投げだした人々への感謝と誇りを呼びかけています。

死んでもラップを口からはなさない木口小平や肉弾三勇士の画像など、国民学校で美談とされた戦争の絵巻がくりひろげられています。

一階には「大東亜戦争」の開戦にいたる日米交渉の資料とともに、日本がアメリカや諸外国にほとんどの資源を依存している図表があります。世界の列強と肩を並べて軍備を増強していくために不可欠のものとして、更に満蒙が日本の生命線という松岡提言も示され、自存自衛の戦争の論拠になっています。

### 「靖国の神々」 に想う

壁面に戦没した若い男女



特攻機(上)と人間魚雷

その若者たちの死に様を物語る兵器や戦跡の収集品は相像を絶するものでした。

の遺影をほりめぐらし、遺品や遺書の陳列ケースがおかれた展示室が続いています。氏名に命(みこと)をつけた「靖国の神々」です。そして華やかな花嫁人形が並んでいる不釣り合いな一隅があります。虚しく青春の命を絶たれた若者が子をもつてくるようになった。愛国心のシンボルとされているのです。

## 日本人の誇りを憲法に託した鈴木安蔵

大沢 豊 監督作品

# 日本の青空

10月25日(木) カメラプラザ・亀戸文化センター  
1回目 10:00 2回目 14:00 3回目 19:00 (開場各30分前)  
前売り券1,200円(当日1,500円) 中高生1,000円(当日1,200円)  
前売り券は、江東地区委員会、江東日本共産党後援会で  
問い合わせ先 事務局TEL・FAX (5836) 6373

入ったら出るということができない人間魚雷「回天」、ロケット特攻機「桜花」など若者たちのおぞましい鉄の桜が愛国心のシンボルとされているのです。「御勸諭に、我が国に生を受けたる者誰かは国に報ゆる心なかるべき」と仰せられてある如く我も男子として軍人になり大君の為に笑って死んだ事こそ本望である(拜殿社頭の掲示にある遺言状の一節) 戦争国家に生まれて軍国主義の洗脳にはめられ、理性も生存本能も麻痺させた教育や訓練に慄然とさせられます。 館内にはこの勸諭を発した天皇家との関係を示す展示もありましたが、数多の

若者を戦争にかりだした14人の戦犯が「昭和の殉難者」として合祀されて以来、天皇らの参拝がなくなった事実を理由も明らかにせず記述してしまいました。 アジア諸国民への加害の歴史や国内の民間人の戦争犠牲者を全く顧みない戦争博物館でした。

### 10月の行事案内

- 5日(金) 19時、憲法9条と「日本の青空」大沢監督と語る、カメラプラザ
- 7日(日) 10時半、健康まつり(深川支部)、森下文化センター
- 7日(日) 14~15時、「都立墨東病院を直営で存続させる会」の宣伝行動 錦糸町駅南口
- 12日(金) 19時、「生存権裁判を支える江東の会」江東文化センター
- 15日(月) 12時、「後期高齢者医療制度」中止を求める宣伝署名、江東社保協、不動尊前
- 25日(木) 10時から「日本の青空」(3回上映)、カメラプラザ





日本共産党江東区議団

政府の姥捨て山制度

知れば知るほど高齢者いじめ！

**後期高齢者医療制度中止・撤回の**